

まほろん

通信

Since 1991



2024

秋号
VOL.93号



◆企画展紹介◆
「この木、何の木?前田遺跡!」

◆連載◆
まほろん
学芸員のひとりごと

◆イベント紹介◆
まほろん感謝デー

◆常設展示室資料紹介◆
田子平遺跡出土の土面



写真:「子ども考古学教室2」での様子



公式 YouTube



公式 Instagram

まほろん 今年から年度
主観展

縄文時代の植物利用

この木、なんの木？ 前田遺跡!

文：佐藤 璃子（学芸員）

昨年度の「川俣町前田遺跡調査成果展」に引き続き、今年度も話題の前田遺跡に関する速報展を行います。

前田遺跡は、福島県北部の伊達郡川俣町に所在しており、国道114号の改良工事に伴い、発掘調査が行われました。縄文時代の集落遺跡で、縄文土器や石器の他にも色鮮やかな漆器を含む木製品や縄文人骨、木柱など通常では残ることの少ない遺物が多数見つかっており、全国的にも注目されています。今回の企画展では、豊富な資料の中でも、植物を利用した資料を中心に取り上げています。タイトルの「この木、なんの木？」のとおり、木製品の樹種や年代を分析する方法やその結果をいっしょに紹介します。展示する資料の性質上、一部展示品を前期・後期で入れ替えます。

また、企画展関連講演会を10月27日（日）と11月30日（土）に行いますので、ぜひそちらもご参加ください。



(写真1 左：漆塗り櫛 右：腕輪)

①前期（10月26日～11月24日）

・漆塗り櫛、腕輪（写真1）

漆が塗られた櫛と腕輪です。よく観察すると細かい繊維を組み合わせてつくられており、その上に漆が塗られています。前田縄文人の細かい技術を感じることがができます。

②後期（11月26日～12月15日）

・火きり臼（写真2）

縄文時代の火おこしの道具

です。棒を差し込むへこみの部分が焦げていることから、使用した後であると考えられます。

③前期・後期通して展示している資料

・漆の容器（写真3）

土器の内面に漆が付着していることから漆を入れた容器であることがわかります。漆を多く使用した前田遺跡では、このような土器が見つかっています。



(写真2)



(写真3)

・編み組素材木（写真4）

前田遺跡では編み組製品の他に、製品をつくるための素材木が見つかっているのが特徴です。見つかった素材木は太さや長さごとに分けられていました。

(写真4)

まほろん
学芸員の
ひとりのこと
第二回
文 丹治 晴彦
(学芸員主任)

もともと教員志望だった私、進学した大学の学部は教育学部でした。社会科の資料集で世界遺産の写真を眺めるのが好きだったこともあり、大学のサークルは考古学研究会に入りました。

何もわからないながらも、サークルで遺跡の発掘調査に参加するうちに、考古学に興味が出てきました。そして、進学した大学には他学部で考古学を専門とするK先生がいることがわかりました。「勉強したい人はいつでも来ていいですよ」とのK先生のお言葉に甘え、講義やゼミに参加させていただき、必要単位はなりましたが、K先生の話を聞くのがとても楽しく、学ぶ喜びを強く感じ、考古学という学問が好きになりました。

その後、大学院に進学し、K

先生の下で勉強を続けるうちに、考古学関係の仕事がしたいという気持ちが強くなりました。そのため、教員ではなく、遺跡の調査員の採用試験を受けました。

採用後は、県内各地の遺跡の発掘調査に携わりました。その際に見つかった土器や石器等も、まほろんに收藏されています。

現在まほろんの学芸員である私。来館者をご案内する際、「この出土品、私も調査に携わった遺跡で見つけたものですよ」とお話しすると、「えー、すごいー!」「調査した方の話を聞けて楽しかったです!」と嬉しいお言葉をいただくことも。

自分が頑張って勉強し、働いてきた経験が、来館者の方々に喜んでいただけるきっかけとなる。なんと素敵でやりがいのある仕事でしょうか!



こども考古学教室



7月21日(日)

こども考古学教室1『古代のしらかわ』

講師に白河市文化財課の鈴木功さんをお迎えしました。参加者のみなさんは下総塚古墳や豪族の住まい跡とされる舟田中道遺跡から、奈良・平安時代の郡役所跡である関和久官衛遺跡が見つられるまでの白河地方の豪族の足取りについて学びました。



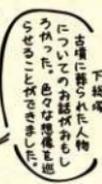
考古学教室1の様子①



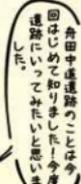
考古学教室1の様子②



小学6年生



小学4年生



8月4日(日)

こども考古学教室2『県内地名の詠まれた和歌』

和歌に詠まれた福島県の地名と場所や、その背景について学んだあとに、平安時代の宮廷でうまれたとされる和紙工芸『継ぎ紙』づくりに挑戦しました。参加者の方々は、家族で和紙の配色を相談したり、和歌を書き留めたり、楽しく体験していました。



考古学教室2の様子



小学5年生

関所の機
能について知りました。
白河の關についてまたよくわ
かっただけあるという
のがワクワクしました。

2024 まほろん 感謝祭

11/2(土)・3(日)・4(月)
9:30~16:00

弓矢にうろし
スペシャルゲスト！



弓矢体験



火おこし選手権



編み組コースター



漆塗りしおりづくり

まほろんで
心がおどる

入館無料、
三日間

他にも、たのしい体験盛りだくさん！

また、特別ゲストでアクアマリンふくしまの移動水族館や那須高原ビジターセンター、国立那須甲子青少年自然の家もやってくる！

※体験には日時や数量が限られているものがあります。詳しくは感謝デー専用チラシや当館ホームページでご確認ください。

